



2019年10月23日

マツダ、東京モーターショーにて 初の量産EV「MAZDA MX-30」を世界初公開

マツダ株式会社(以下、マツダ)は本日、「第46回東京モーターショー」(主催:一般社団法人 日本自動車工業会)*1において、マツダ初の量産EV「MAZDA MX-30(エムエックス サーティー)」を世界初公開しました。

MX-30は、新たにマツダのカーラインアップに加わる新世代商品の第3弾です。このモデルは、お客さまがクルマとのつながりを深め、クルマとともに自然体で自分らしい時間を過ごしていただくことを目指し、新たなクルマの使い方、創造的な時間と空間を提案します。



MAZDA MX-30(欧州仕様車)

MX-30のデザインは、マツダのデザインテーマ「魂動(こどう)-SOUL of MOTION」のもと、「Car as Art」として、さらに芸術性を高めるとともに、表現に拡がりを持たせることに挑戦しています。人の手が生み出す美しい造形とこだわりの作り込みを基礎としながら、将来に向けた価値観の変化や、新しいライフスタイルに寄り添うことを目指し、「Human Modern(ヒューマン モダン)」をコンセプトに、そのデザインをつくり上げました。

また、センターコンソール周りは、抜け感を持たせた形状とすることで、開放感のある空間を構成。コルクや再生材からできた生地などの環境に配慮した素材を、そのものが持つ自然な魅力を引き出して使用し、心地のよい室内空間を実現しています。加えて、お客さまが自由な発想で、クルマの多彩な楽しみ方を創造していただけるよう、フリースタイルドア*2を採用しました。

さらに、人間中心の開発思想に基づき、EVでも変わることのない「人馬一体による走る喜び」を追求。新たに電動化技術「e-SKYACTIV(イー・スカイアクティブ)」を採用し、意のままの操作感と滑らかな車両挙動を高次元に融合させ、ドライバーが自然に運転を楽しむことができる走りを実現しました。

代表取締役社長兼 CEO の丸本 明(まるもと あきら)は、「マツダは、いつの時代もクルマを通じて、人生に輝きを感じていただきたいと考えています。お客さまに愛着を持って、いつまでも保有したいと思っただけの独創的な商品・技術の創造に挑戦し続けてまいります」と述べました。

以 上

*1 報道招待日は10月23日(8:00-18:00)および24日(8:00-11:30)。一般公開日は10月25日から11月4日。

■ 東京モーターショー2019 特設サイト

<https://www.mazda.co.jp/experience/tokyomotorshow2019/>

■ MX-30 スペシャルサイト

<https://www.mazda.com/ja/new-generation/mx-30/>

(当ウェブサイトは10月23日正午前後の公開予定)

*2 センターピラーレスのセンターオープン式ドア構造